

令和7年12月17日

保護者様

京都市立上賀茂幼稚園
園長 村山 得太朗

幼稚園評価の結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本園の保育・教育にご支援ご協力賜りありがとうございます。行事の多かった2学期もあと1週間となりました。PTA本部役員の方を中心に各委員の皆様には、『親子クッキング』『親子ふれあいの集い』などでたいへんお世話になりました。ありがとうございました。子どもたちは『おいもパーティー』『園外保育（植物園）』『幼稚園大会』『園外保育（京都御苑）』と保護者の方と一緒に、また、お友達と一緒に楽しむことができたと思います。そして、子どもたちは様々な行事を通して一段と成長してくれたと思います。

さて、運動会後に実施しました幼稚園評価にご協力いただき、ありがとうございました。たいへん遅くなりましたが、保護者アンケートの結果をグラフ化し、別紙にまとめましたのでご覧ください。分析につきましては、学校運営協議会の皆様にもご意見をお聞きし、領域ごとに行いました。また、アンケートについては、『子どもたちの成長の様子』『預かり保育』『子育て支援』などについて自由記述欄を設けました。アンケート結果や記述のご意見を参考にし、保育の充実を図り、子育て支援を通して園児数の増加を目指して取り組んでいきたいと思います。

【全体的な傾向】

◆AまたはBの評価が多くみられます。子どもたちが家庭での安定した生活を基盤に幼稚園での遊びを楽しんでいる様子がうかがえます。

【子どもの様子】

◆⑥「困ったことや難しいことに対してもあきらめずに取り組んでいる」の項目で、前回C、D評価が7人でしたが、今回は3人でした。ただ、D評価は0人から2人になりました。おうちの方から見て、子どもたちは諦めが早かったり、すぐに投げ出したりすることがあるようです。ゆり組では、竹馬を親子で製作し、その日から竹馬遊びを始めます。そして、運動会で自分ができるようになったところまでを発表するようになります。誰もが、簡単には乗れないので、自分自身の頑張りや周りの子どもたちの刺激、先生の声かけなどで乗れるようになっていきます。夏休みに自分で乗っていた園児もいるようです。ほぼ全員が最後まであきらめず挑戦しています。気持ちの問題が大きいので、子どもがやる気になるような環境設定や教師の援助が必要になってきます。子どもたちは急に取り組み始めたり、急にできるようになります。子どもの取組も保育も試行錯誤の連続です。「あきらめず取り組む気持ちを育てる」にはどのような環境設定や支援をすればいいか、研修を深めていきたいと思います。

【幼稚園の取組】

◆A評価とB評価を合わせるとあまり変わりがないのですが、A評価が5～7人増えた項目が「⑦幼稚園の保育の方向性は適切である」「⑩地域や学校、関係機関との連携を大切にしている」「⑪子どもの様子を保護者に伝えている」の3つです。特に年長の子どもたちが様々な場面で落ち着いて遊びを楽しみ、成長している様子がうかがえます。そして、上賀茂小学校とは、例年と同じように交流でお世話になり、上賀茂学区のお祭りにも参加させていただくなど、上賀茂こども園の園児さんと同様、小学校や児童館、地域

の皆様に大切にされていることが結果に表れたのだと思います。⑪についてはホワイトボードなどを使ったりしながら、4時のお迎えの時にできるだけ保育の様子が伝わるよう工夫している部分が評価されたのではないかと思います。今後とも子どもたち一人一人と丁寧に関わりながら、集団の一員として成長できるように保育を進めて行きたいと思います。保育の在り方、子どもたちの様子、子育てで気になることや困っていることなどがありましたら、遠慮なく相談してください。保護者の皆さんと幼稚園とが協力し合って子どもたちを育んでいきたいと考えています。学校運営協議会の皆様からは、運動会の子どもの様子と保護者アンケートの結果から「保育の方向性は間違っていないと思うので自信をもって取り組んでください」との意見を頂戴しました。

【家庭での取組】

◆ほとんどの項目でA評価かB評価がほとんどでした。ご家庭での安定した様子が、幼稚園での生活の支えになっていると思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

【地域や学校との連携】

◆「⑯地域の方と行事や取組でよく関わっていると思う。」「⑰地域や地域の人に親しみをもっている」の項目で、昨年度後期より、A評価が減り、B評価が増えました。式や運動会には学校運営協議会の皆様を中心に地域の方にも足を運んでいただいていますが、通常の保育の時や保護者が参加できる行事の時にご案内していきたいと思います。研究保育には上賀茂小学校の校長先生、教務主任の先生、架け橋主任の先生、柊野小学校の校長先生、元町小学校の校長先生にも来ていただき、ご意見を頂戴しました。小学校との連携では、教職員がそれぞれの学校・園を行き来しやすいように取組を進めて行くことが大切だと考えます。今年度も年長児が上賀茂こども園の園児さんとともに小学校の様々な学年の児童と交流活動を実施することができました。子どもたちは小学校のお兄さん、お姉さんと会うのを楽しみにしています。また、小学校とはどんなところか、上賀茂小学校に進学しない園児もいますが、他の小学校でも様子や雰囲気はそんなに変わらないと思います。見通しをもって入学できるので今後も続けていきたいと思います。中学校からは、加茂川と西賀茂の2年生が「生き方探究・チャレンジ体験」に来てくれました。さらに加茂川の3年生全員が家庭科の保育実習に来てくれました。子どもたちはお兄さんお姉さんと遊ぶのが大好きでとても喜んでいました。中学生も学校ではなかなか見られない表情で子どもたちと遊んでくれていたようです。お互いにいい経験になったと思います。地域行事では昨年に引き続き上賀茂祭りでステージ発表の場を提供していただきました。幼稚園PTAもスーパーボールすくいのブースで参加し、大盛況でした。

◆自由記述欄につきまして、様々なご意見・ご質問ありがとうございました。今後の園運営の参考にさせていただきます。また、ご質問等に関しましては、個別にお答えさせていただきます。今後ともお気づきの点がございましたら、登降園の際、お話ししていただくか、アプリのメールでご連絡ください。よろしくお願ひいたします。

★学校評価を行う理由（京都市教育委員会ホームページより）…社会情勢や子どもを取り巻く環境が多様化・複雑化している現代において、学校だけでなく、保護者・地域の方々が子どもを育む当事者として、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみの教育を進めることができます。学校評価は、学校・家庭・地域が自らを振り返り、子どものためにできることを考え、共に行動するきっかけとするものです。このことが、地域ぐるみで子どもを育てることに繋がるのです。